

義と相似たれども、寒氣は彼よりも稍強し。また雲霧の深きこと英國に同じ。

産物

産物は、麥類・蔬菜・煙草・亞麻・牛・豚・牛酪・乾酪等にして、國民は農業・牧畜を重なる生業とし、航海・漁業等に從事するものも少からず。工商の業も亦頗る盛なり。

沿革

(四)沿革 此國は、もと白耳義と合したる一國にして、西班牙の領地なりしが、宗教上の争より、遂に分離して獨立したり。其國民は、古より航海通商の業を勵みて、今猶ほ海外に許多の殖民地を有せり。此國は、我國と其關係最も深くして、徳川幕府の頃、長崎に來りて、西洋の事物を傳へたり。

政體住民

(五)政體住民 政體は、立憲君主制にして、宗教は、耶蘇新教

を奉ずる者多し。人種は、英人と同種族にして、言語も酷た英語に肖たり。

第十 丁 抹

位置

(一)位置 丁抹は、獨逸の北ジャツトランド半島の北半と、其附近の諸島とを併せたる國にして、面積三千五百餘萬方里、人口二百十九萬を有す。また遠く北洋に離れたるアイスランド島も、此國の版圖にして、其面積は六千六百餘方里あれども、人口は僅に七萬に過ぎずと云へり。

地勢

(二)地勢都邑 地勢平坦にして、所々に沼澤多し。東部は地味肥沃なれども、其他は概ね砂地にして、耕作に適せず。

都邑

コーペンヘーゲンは、此國の首府にして、ジーランド島に

氣候

あり。人口四十餘萬を有して、工業・商業ともに盛なり。
(三)氣候・産物 氣候は、海國なるを以て、隣國に比すれば、温
暖なり。空氣濕潤にして、雨多く霧の深きこと、英國に類せ
り。

産物

産物には、大麥・小麥・裸麥・燕麥等あり。又牧畜の業盛に行は
れて、牛・馬・羊・豚・牛酪等を出すこと多し。

沿革

(四)沿革 此國は、曾て瑞典・諾威を併せて、一王の配下に屬
し、國力强盛なりしが、後に瑞典先づ分立し、尋で諾威も離
れて瑞典に合し、現今は、此國のみ孤立して一小國を成せ
り。然れども、其人民は、航海の術に長じて、海外に領地を開
くことを勉むる故に、今猶は西印度の數島を領せり。

政體

(五)政體・住民 政體は、立憲君主制にして、住民は、耶蘇新教
を奉ず。

第十一 獨逸

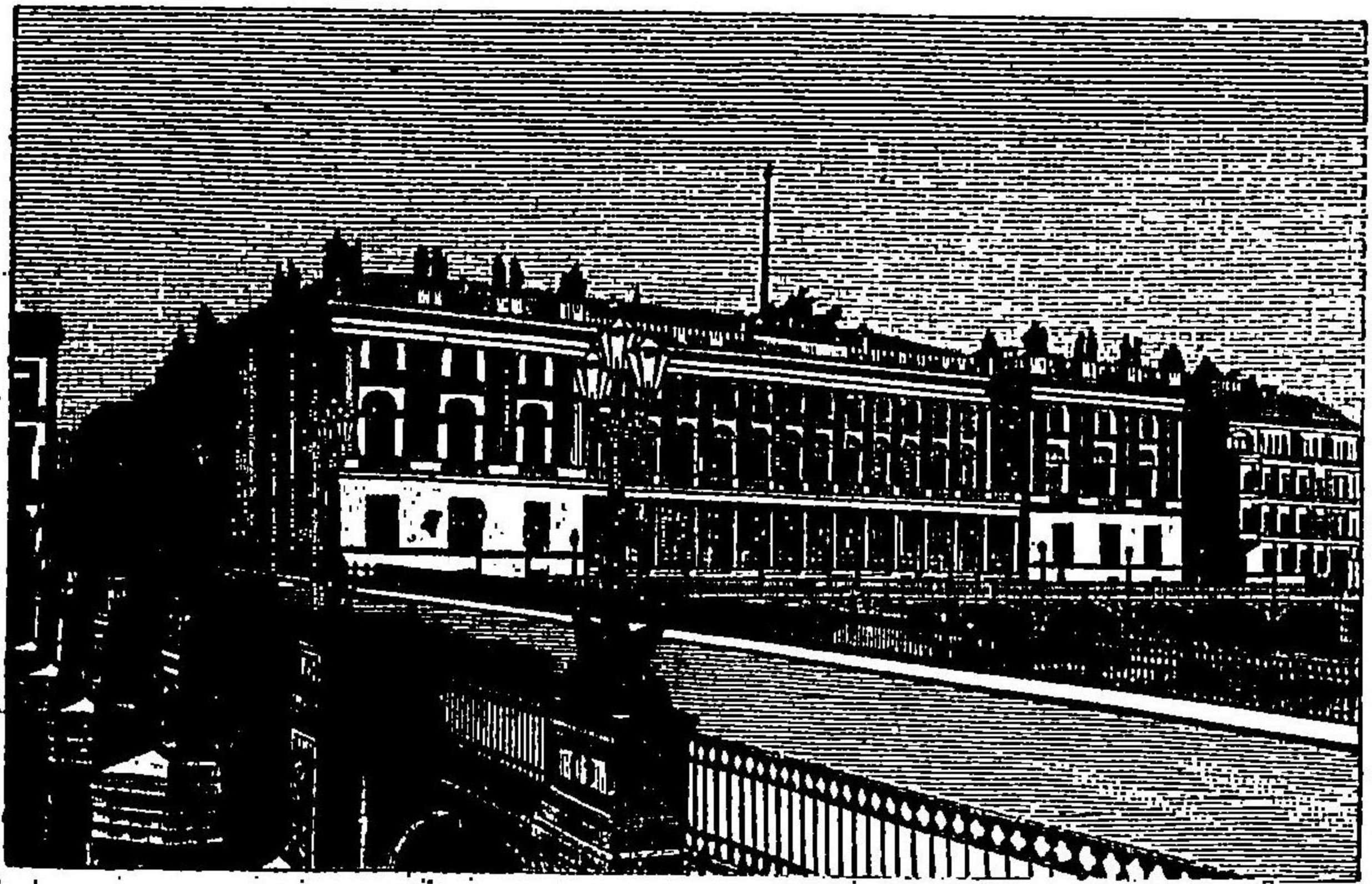
位置

(一)位置 獨逸は、歐洲大平原の西部に位し、南は瑞西・澳地
利に連り、西は和蘭・白耳義・佛蘭西に界し、北は北海・ボルテ
イツク海及び丁抹に接し、東は露西亞に隣せり。其面積は
三萬五千餘方里にして、人口は五千二百三十萬を有す。

地勢

(二)地勢・都邑 地勢は、南より北に傾斜するを以て、北部を
低地日耳曼と稱し、南部を高地日耳曼と稱す。低地日耳曼
は、一帯の平野にして、高地日耳曼は、山岳森林相連れり。河
流は、概ね南部の高地より發し、北流して海に入る。其大なる

都邑



伯林

るは、ライン河・ウエゼル河・オーデル河・ヴィステュラ河の五流にして、いづれも水利多し。伯林は、亭漏士にありて、獨逸帝國の首府たり。市街はスプレー河に跨り、運河・鐵道の便多く、人口百六十餘萬を有して、歐洲第三の大都會なり。ハンブルグ港は、エルベ河に臨み、大船巨舶の出入自由にして、人口六十餘萬を有し、此國第二

の都會なり。

其他、各聯邦につきて、著名なる都會あり。其數は、人口十萬以上を有するもの、二十餘個所ありと云へり。

(三)氣候・産物 氣候は、沿海地方を除けば、所謂大陸氣候にして、寒暑の差異甚た多し。

産物は、地方に由りて異同あり。山地は、諸種の鑛物・良材に富み、平野地方は、馬・牛・羊の牧畜大に行はれ、耕地には、麥類・麻類・葡萄等の栽培盛なり。元來、此國は、農業國なりしが、近時は、工商の業もまた頗る發達して、麥酒・葡萄酒・毛織物および其他の製品を輸出す。

沿革

(四)沿革 此國は、四王國・六大公國・五公國・七侯國・三自由都

府一帝領の聯合して、一大帝國を成したるものにして、一に日耳曼聯邦とも稱す。舊時は、澳地利國も、此聯合中の一王國にして、其國王は、世獨逸皇帝の位を兼攝する制度なりしが、李漏士國の強盛なるに及び、兵力を以て、澳國を斥け、自ら此聯邦の盟主となり、尋で佛國を敗りて、國威を輝きたりしより、其國王は、遂に皇帝の位を踐み、聯邦を統御するに至れり。爾來國運ますます、隆盛に赴き、陸軍の完備強銳なる、世界萬國に冠たりと稱せらる。

(五)政體・住民 政體は、立憲君主制にして、軍事・外交、其他全國一般に關する政務の外は、各聯邦の自治に任ずる制度なり。宗教は、耶蘇新教を奉ずるもの多し。また教育の制度

政體

よく備りて、學術の盛なることも、世界第一と稱せらる。

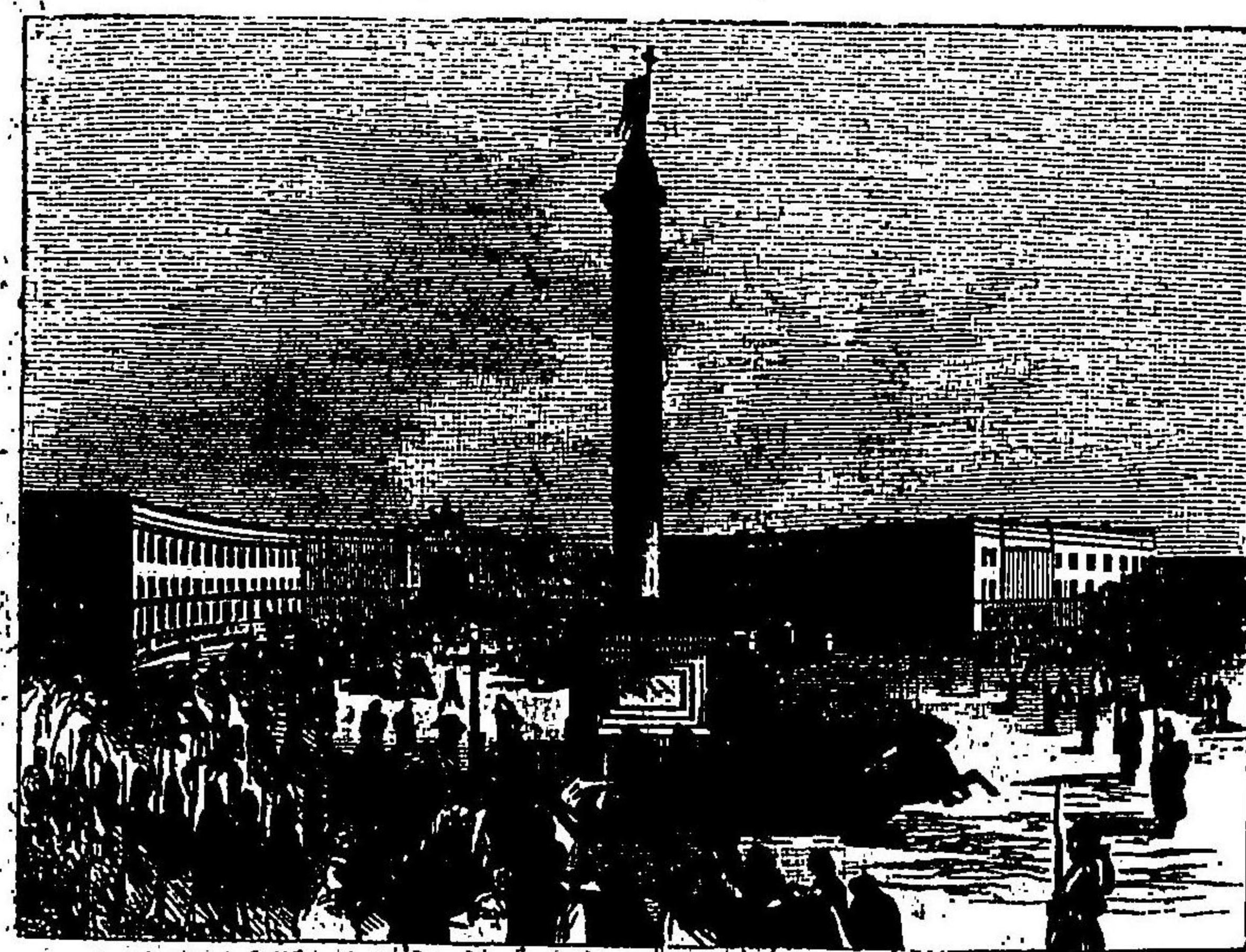
第十一 露西亞

位置

(一)位置 露西亞は、歐洲の東北部に位し、北は北氷洋に向ひ、西は瑞典・獨逸・澳地利・羅馬尼亞に接して、ボスニア灣・バルテイツク海に臨み、南は黒海を控へ、高加索山脈を繞らし、東は裏海・烏拉山脈を以て、亞細亞洲に界せり。其面積は凡そ三十五萬餘方里にして、人口は九千四百萬を有す。是に亞細亞露西亞の面積百十餘萬方里を加ふれば、百四十餘萬方里にして、實に地球上全陸地の六分の一に達せり。然れども、其人口は、亞細亞露西亞を合算するも、猶は一億一千三百餘萬に過ぎず。

地勢

(二)地勢都邑 地勢は、東境の烏拉山地方と、南境の高加索地方との外は、全國概ね平坦にして、唯西北部に、ヴァルダイ連岡あるのみ。河流は、歐洲第一の長流たるヴォルガ河を始め、ドンドニパー、ドニースター、ペチョラドヴィナ、デューナヴィス、テュラ等の大河、平野の間を廻流して、水利頗る宜し。



柱圓山麓亞の府盛得彼聖

都邑

聖彼得堡は、彼得大帝の建設したる國都にして、フィンランド灣頭に位し、人口百二十餘萬ありて、歐洲第五の大都會なり。

舊都モスコイは、國の中央にありて、今猶ほ人口一百万に餘り、内地の商工業盛に行はる。

其他、有名なる都會には、波蘭の故都たるウォルソー、ヴォルガ河畔のサラトフ、ニジニノヴゴロツド、ドニパー河邊のキーフ等なり。又黒海岸なるオデツサ、ボルティツク海岸なるリガは、共に穀物の輸出を以て著名なり。

(三)氣候・産物 國の面積甚だ廣大なる故に、其氣候、南北二部に於て、大に差異あり。然れども、要するに、夏季短くして

氣候

産物

冬季長く、殊に最北部の地方は、終歳氷雪に鎖されて、草木の繁殖と人類の棲息とに適せざる處多し。これに反して、中央部より南に當れる地方は、温暖にして、森林原野を蔽ひ、耕作に適する地もまた少からず。産物は、昔時は、鑛物、木材、獸皮、羊毛、麥、麻等の天産物のみを出したりしが、近年は、工業大に發達し、綿布製造の如きは、世界屈指の盛大を爲すに至れり。

沿革

(四)沿革 此國は、今より二百年前は、一野蠻國たるに過ぎざりしが、彼得大帝出でて、内政治を釐革し、外版圖を擴張したりしより、國力漸く増進して、今日の如き強大國となるに至れり。

政體住民

(五)政體住民 政體は、君主專制にして、國家の大權悉く皇帝の掌裡にあり。宗教は、希臘教を以て國教とし、皇帝を其教主とす。然れども、土地廣さが故に、國內に異種の人民多くして、異教を奉ずるものもまた少なからず。

第十三 瑞典諾威

位置

(一)位置 瑞典諾威は、歐羅巴の西北部、スカンディナヴィア半島の全部を占め、東は露西亞に界し、北は北氷洋を控へ、西は大西洋に臨み、南は海峽を隔て、丁抹獨逸と相望めり。其面積は四萬九千餘方里にして、人口は六百九十萬を有す。

地勢

(二)地勢都邑 一帶の、山脈、南北に連りて、半島を東西の兩

部に分つ。其東部は瑞典にして、平地多く、西部は諾威にして、山地多し。河流の大なるは、諾威のグロムメン河にして、運漕の利あり。其他の諸川は、何れも急流にして、更に舟楫を通せず。

都邑

瑞典の首府ストックホルムは、此國政府の所在地にして、人口二十九萬餘を有す。市街は數多の島上に位して、商業繁盛なり。

ゴツテンブルグは、此國第二の都會にして、貿易の要地と稱せらる。

諾威の首府を、クリスチアニアと云ふ。木材、魚類の輸出を以て名あり。

氣候

(三)氣候・産物 國土の大半、寒帯に位せるを以て、其氣候は、寒氣烈しく、一年には、冬夏の二季あるのみ。而して、冬季は長く、夏季は短し。また夏の晝間と冬の夜間とは、共に長くして、一晝一夜數月に涉ると云へり。

産物の主要なるものは、鑛物及び木材にして、中にも、瑞典の鐵は、世界無比の稱あり。諾威人は、漁業に従事するもの多く、肝油の製造盛なり。農産は、氣候の寒さと、耕地の少さとの由りて、其産額多からず。

沿革

(四)沿革 此二國は、もと丁抹より分離し、相合して一王國を成したるものなれども、各自に政府れよび立法院を設けて、政令を布けり。

政體住
民

(五)政體住民 政體は、立憲君主制なれども、君主の權限狭くして、殆ど自由民政の如きものあり。宗教は、耶蘇新教を奉ずるもの多く、言語は、丁抹語に類す。教育もまたよく普及せり。

第三章 北亞米利加諸邦

第一 合衆國

位置

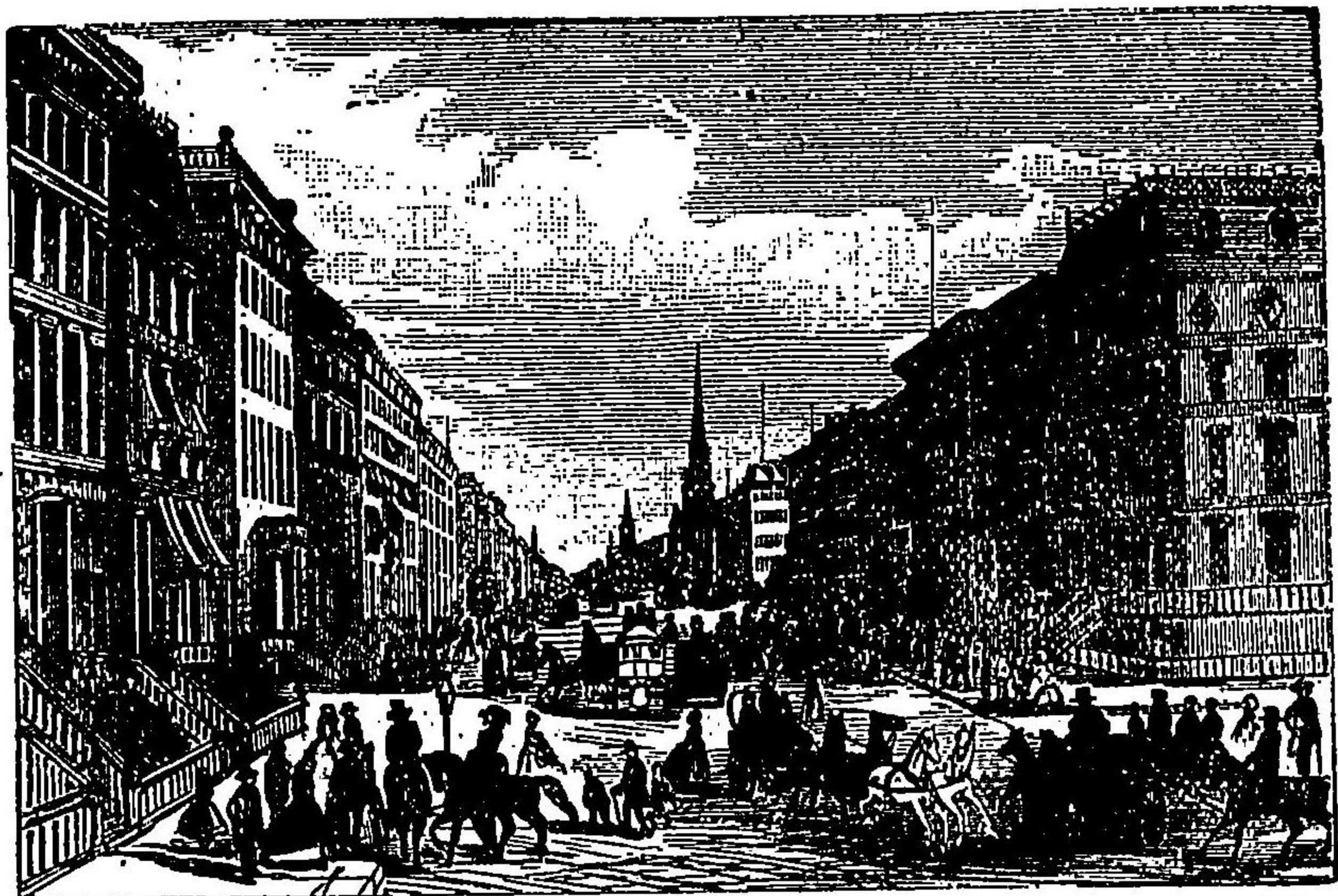
(一)位置 合衆國は、北亞米利加の中部に位し、北は英領加奈多に接し、東は大西洋に面し、南は墨其西哥灣と墨其西哥とに界し、西は太平洋に臨めり。其面積は五十八萬八千餘方里にして人口は六千二百六十二萬餘を有す。

地勢

(二)地勢都邑 此國は、落機山アレガニー山の兩山脈の外は、概ね低平に屬せり。地形に據りて、全國を區分すれば、太平洋沿岸地、西部高原、中央大平原、東部高原、大西洋沿岸地の五區となすべし。太平洋の沿岸は、落機山の支脈カスケード及びシーラ子ヴァダ等の山麓より、太平洋に達する

一帯の原野にして、其幅平均六十里左右あり。即ち我邦と對岸の地なり。西部高原は、落機山脈と其支脈との中間に位し、幅百二十里より百七十里に涉り、地味は一般に礫礫なれども、金、銀、其他の鑛物を包有すること無量なり。中央平原は、方四百餘里に涉れる平地にして、地味頗る肥沃なり。東部高原は、アレガニー山脈中にある地にして、炭田に富めり。大西洋の沿岸地方は、其幅甚だ廣からざれども、遙に歐洲各國と相對して、各部中最も繁盛の所なり。河流の著大なるもの數流あり、就中ミシシッピを第一とす。此河は、本支の數流、中央大平原を廻流して、頗る灌溉運輸の便をなせり。

都邑



街市クーヨーニ

華聖頓は、此國の首府にして、人口二十餘萬を有す。ニューヨークは、國內第一の都會にして、ハッドソン河口に位し、人口二百萬あり。其對岸ブルックリンとの間に、長橋を架して、兩市相連絡せり。其人口を合算すれば、實に三百三十餘萬に達し、世界第二の大都會たり。貨物の輻湊、街衢の雜沓、恐らくは英國倫敦の下にあらざるべし。

之に次ぐは、**フィラデルフィア**、**シカゴ**にして、各人口百萬に超えたり。
其他**セントルイス**、**ボルティモア**、**ボストン**、**シンシナティ**、**イ**等も、著名の大都會なり。又西部に於ける**サンフランシスコ**は、太平洋沿岸唯一の要港にして、殊に、我國とは、船舶の往來甚た繁し。

氣候產物

(三)氣候・產物 氣候は、南北二方に於て、甚たしき差異あり。然れども、其寒地にても、小麥を産せざるにあらず。此國は、農業最も發達して、**麥**、**玉蜀黍**、**綿**、**煙草**、**甘蔗**、**馬鈴薯**等の收穫最も巨額なり。又鑛物には、**金**、**銀**、**銅**、**鐵**、**鉛**、**石炭**、**石油**の產出多し。又製造業と商業とも、歐洲諸國に譲らず。

沿革

(四)沿革 此國は、歐洲移住民の開拓したりし地に於て、久しく英國に附屬したりしが、今を距ること百餘年前、其壓制を憤り、北米の十三州、同盟連合して獨立を企て、七年間の戦争ありて、終に獨立の共和國を創立したり。爾來年を閱すること甚た多からずと雖も、國運日に隆盛に赴き、現今に於ては、四十四州、六地方、一區より成りて、版圖の廣さ、殆ど歐洲全土に等しく、制度文物また整然として、歐洲諸國を凌駕する勢あり。

政體住民

(五)政體・住民 政體は、共和政治にして、宗教は、**耶蘇新教**を奉ずるもの多し。言語は、一般に英語を用ふ。國民は實利を重じて、浮華を喜ばざる風あり。

第二 墨其西哥

位置

(一)位置 墨其西哥は、北亞米利加の南部に位し、北は合衆國に連り、西は太平洋に面し、南はグアテマラ及び英領ホンデユラスに界し、東は墨其西哥灣に臨めり。其面積は十二萬餘方里にして、人口は一千二百餘萬を有す。

地勢

(二)地勢都邑 沿海地方の外は、國內概ね高原にして、其最高地は、凡そ六千四百尺に達せり。

都邑

首府墨其西哥は、南部の高原に位して、人口三十餘萬を有し、四邊の風光頗る佳なり。
アカプーロコは、南海岸にある良港なり。
ヴェラクルヅは、東海岸にありて、外國貿易の要港なり。

氣候

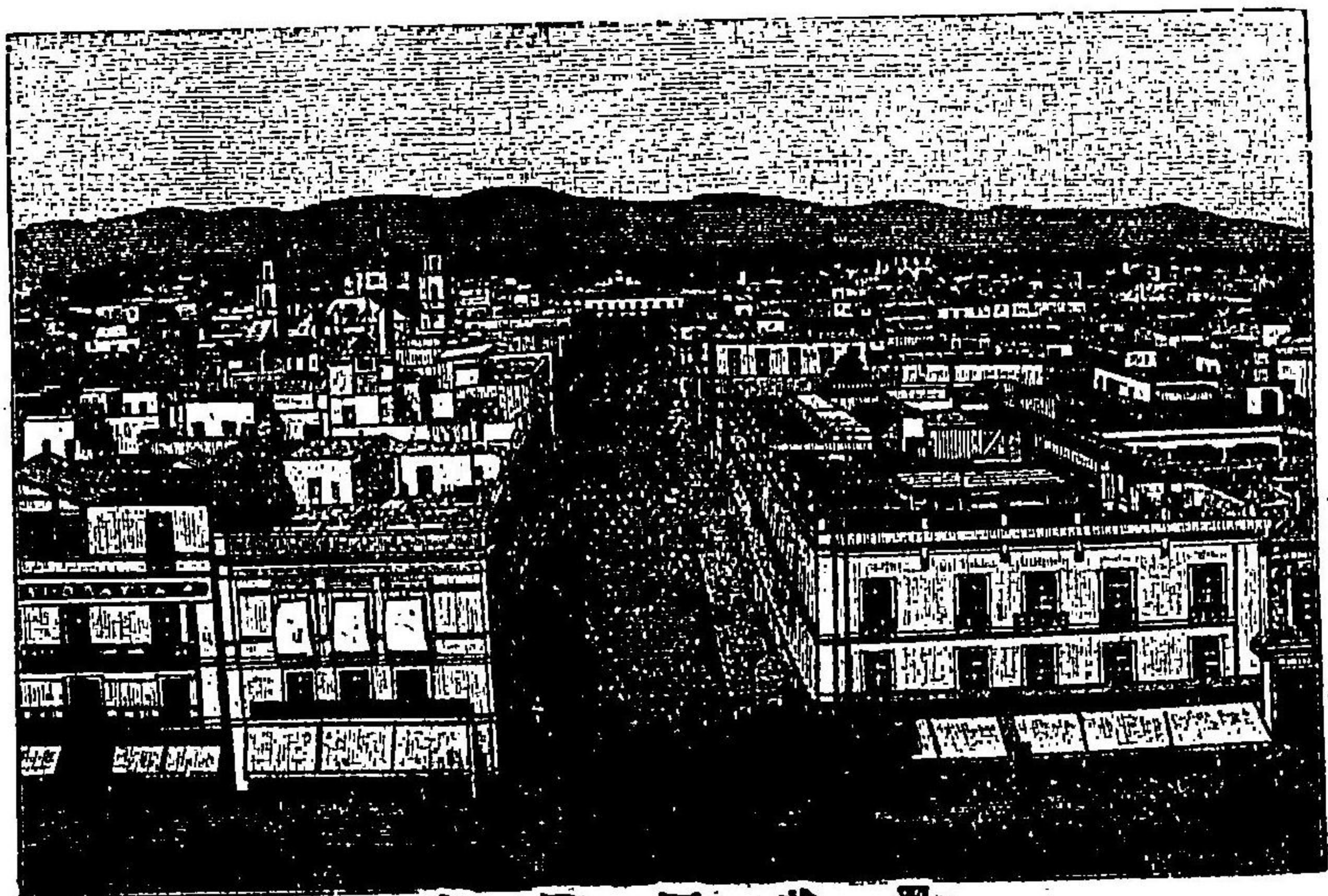
(三)氣候產物 氣候は、土地の高低によりて異同あり。其低地は炎熱にして、高地は溫暖なり。

產物

產物は、玉蜀黍・麥類・麻・綿・葡萄・烟草・椰子・バナ、等あり。又金・銀・其他の礦物に富み、中にも、銀の産額は世界第一と稱せらる。

沿革

(四)沿革 此國は、土人の創建したるものにして、歐洲人が新世界發見の頃には、既に政府を立て、一國の體裁を成したりき。



墨其西哥府

住民

其後、永く西班牙の版圖に歸したりしが、今は獨立して共和政府を立て、専ら内治の改良を圖れり、
〔五〕住民 人民は、西班牙人と土人との混合種類にして、土人の數は、全人口の三分の二を占めたり。然れども、是等は、大抵無智の賤民のみなり。宗教は、耶蘇舊教盛行はれて、言語は専ら西班牙語を用ふ。

第四章 南亞米利加諸邦

第一 秘 露

位置

〔一〕位置 秘露は、南亞米利加の西北部に位し、北はイクエ
ードルに界し、東は伯拉西爾及びボリヴィアに接し、南は
智利に連り、西は太平洋に臨めり。其面積は七萬七千餘方
里にして、人口は凡そ二百六十餘萬あり。

地勢

〔二〕地勢 都邑 アンデス山脈、太平洋に沿ひて、南北に亘れ
り。故に、國の西部には、山地多くして、東部は平原多し。此平
原を流るゝは、有名なるアマゾン河の源流なり。

都邑

國都をリマと稱す。人口十萬に餘れり。
カラオは、此國の要港にして、外國貿易盛行はる。

氣候

(三)氣候・産物 氣候は、一般に炎熱なれども、高原の地は、溫和にして、最も人の健康に適す。故に、國民の多分は、此高地方に住せり。

産物

産物には、玉蜀黍・小麥・馬鈴薯等の農産物多く、幾那れよび砂糖の産出亦夥し。中にも、馬鈴薯は、もと此國の特産物にして、是より他國に傳へたるなり。當國第一の産物は、海鳥の糞なりとも、近年智利と戦争の結果、其産地を割讓したり。又此國は、數百年以來、金・銀の産に富めりしが、今は其採掘甚た衰へて、昔時の盛に比すべからずと云へり。

沿革

(四)沿革 此國は、もと西班牙の殖民地なりしが、後に分離して、獨立の一國を組織したり。近年、智利と戦ひて大敗し、

政體住
民

國力大に衰へて、なほ恢復する能はざるものゝ如し。
(五)政體・住民 政體は、共和政治にして、宗教は、耶蘇舊教を國教とす。人民は、西班牙人と土人との混合種にして、言語は、土語及び西班牙語並び行はる。

第二 伯拉西爾

位置

(一)位置 伯拉西爾は、南亞米利加洲の東部に位する大國にして、コロムビア・ヴェネズエラ及びギアナに界し、西はボリビア・秘露・イクエードルに隣り、南はウルグワイアル・ゼンティン・パラグエイに連り、東は太西洋に臨めり。其面積は五十三萬九千方里にして、人口は一千四百萬あり。

地勢

(二)地勢・都邑 全國の地勢、自ら平原・高地の二部に開けた

りアマゾン河は、世界第一の巨流にして、其幅の廣き所は三里に達し、河口より一千餘里の上流まで、舟行自由なり。其支流のリオニグロ河、マデイラ河の如きも、また頗る大河なり。

都邑

國都リオデジャネーロは、大西洋沿岸の良港にして、人口五十萬餘あり。之に次けるは、バイア港にして、内外の貿易甚た盛なり。

氣候產物

(三)氣候產物 氣候は、一般に炎熱にして、降雨もまた甚た多し。地味肥沃にして、植物の發育最も宜し。農産物の主要なるは、珈琲、甘蔗にして、綿、煙草、米穀之に次けり。中にも、珈琲の産額は、頗る巨大にして、凡そ世界中に使用する珈琲

沿革



伯拉西爾西爾金剛石採取

の一半は、此國より出すと云へり。また國內の大半は、森林なるを以て、種々の良材を出し、多くの椰子を産す。動物には、内部の草原に野生の牛馬蕃殖し、鑛物には、金、銀、金剛石、石炭、水晶等の産あり。

(四)沿革 此國は、もと葡萄牙の殖民地なりしが、後には、某王族を戴きて獨立し、新世界中、唯一の帝國を創建せり。然るに、近年に至り、革命の亂起り、帝政を廢して、共和政

住民

治となしたり。

(五)住民 人民は、白人・黑人・土人の三種屬にして、土人の數最も多く、白人は、概ね葡萄牙人の子孫なり。宗教は、耶蘇舊教を以て、國教と定めたり。

中等小地理外國之部終

明治三十三年十月八日印刷
明治三十三年十月十日發行

中等小地理・外國之部

定價金六拾錢

編纂者 文學社編輯所

印刷者 兼 小 林 義 則
東京市日本橋區本町四丁目十六番地

發 兌 文 學 社

東京市神田區錦町三丁目一番地

印刷所 文學社工場

大賣捌所 全國各府縣特約書林



文部大臣伯爵樺山資紀君題辭

錦鶏間祇候帝國教育會長辻新次君序

米國エール大學哲學教授ドクトル、オア、テイゲカニテイ、ジャー、テイ、ラッド君講述

東京專門學校講師浮田和民君通譯

帝國教育會編纂

東京帝國大學文科大學教授ドクトル、オア、フイロソフイ、中島力造君校閱並序

●教育學ニ應用シタル心理學 全一冊 菊判總クローズ 定價金九錢拾

高等師範學校教授波多野貞之助君閱

同 教諭小山左文二君著

●教授法汎論 全一冊 定價金四拾錢

前高等師範學校講師長谷川乙彦君著

●新教育學大綱 全一冊 定價金五拾五錢

●教授法各論 全一冊 定價金五拾錢

文學士笹川種郎君編

一二用年 全二冊

定價金九拾錢

文學社編輯所編纂

●中等小地理 全三冊 本邦定價金五拾五錢 外國定價金六拾五錢 地文近刊

216
2
44

